主な抗うつ剤一覧表

アステム社内資料
H22.9
No.1

分　類		SSRI★1			SNRI★2		NaSSA★3
商品名		ジェイゾロフト	パキシル	デプロメール ＝ルボックス	サインバルタ	トレドミン	リフレックス ＝レメロン
会社名		ﾌｧｲｻﾞｰ	ＧＳＫ	明治製菓=ｱｽﾃﾗｽ	ﾘﾘｰ＝塩野義	旭化成＝ﾔﾝｾﾝ	明治製菓=ｼｪﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾗｳ
一般名		塩酸ｾﾙﾄﾗﾘﾝ	塩酸ﾊﾟﾛｷｾﾁﾝ水和物	ﾏﾚｲﾝ酸ﾌﾙﾎﾞｷｻﾐﾝ	ﾃﾞｭﾛｷｾﾁﾝ塩酸塩	塩酸ﾐﾙﾅｼﾌﾟﾗﾝ	ﾐﾙﾀｻﾞﾋﾟﾝ
剤　型		錠：25mg,50mg	錠：10mg,20mg	錠：25mg,50mg,75mg	ｶﾌﾟｾﾙ：20mg,30mg	錠：12.5mg,15mg,25mg,50mg	錠：15mg
効能・効果		うつ病・うつ状態、 パニック障害	①うつ病・うつ状態 ②パニック障害 ③強迫性障害 ④社会不安障害	うつ病･うつ状態、 強迫性障害、 社会不安障害	うつ病・うつ状態	うつ病・うつ状態	うつ病・うつ状態
用法・用量		初期：1日25mg、 1日100mgまで漸増 1日1回	①1日1回20～40mg(夕食後) 1回10～20mgより開始し、 1週間毎に10mg/日ずつ増量 1日40mgまで ②1日1回30mg(夕食後) 1回10mgより開始し、 1週間毎に10mg/日ずつ増量 1日30mgまで ③1日1回40mg(夕食後) 1回20mgより開始し、 1週間毎に10mg/日ずつ増量 1日50mgまで ④1日1回20mg(夕食後) 1回10mgより開始し、 1週間毎に10mg/日ずつ増量 1日40mgまで	初期：1回50mg、 1日150mgまで増量 1日2回分服	初期：1日20mg、 1日40mgまで漸増 1日60mgまで増量可 増量は1週間以上の間隔をあけて 1日用量として20mgずつ行なうこと 1日1回(朝食後)	初期：1日25mg、 1日100mgまで漸増 1日2～3回分服(食後) <高齢者> 初期：1日25mg、 1日60mgまで漸増 1日2～3回分服(食後)	初期：1日15mg、 1日15～30mg、 1日45mgまで増量可 増量は1週間以上の間隔をあけて 1日用量として15mgずつ行なうこと 1日1回(就寝前)
薬理作用		・選択的5HT再取り込み阻害			・選択的5HT再取り込み阻害 ・選択的NA再取り込み阻害		・α_2自己･ﾍﾃﾛ受容体拮抗作用 による5HTおよびNA増量 ・$5HT_2$および$5HT_3$受容体阻害 →$5HT_1$受容体活性化
副作用発現率(例数) 【承認時】		59.6%(881/1478)	59.5%(516/867)	43.0%(306/712)	90.2%(663/735)	38.3%(179/467)	82.7%(273/330)
主な副作用【承認時】	悪心・嘔吐	18.9%[悪心] 2.2%[嘔吐]	15.8%[悪心] 3.2%[嘔吐]	11.8%[嘔気･悪心]	36.6%[悪心]	4.9%[悪心] 1.1%[嘔吐]	4.5%[悪心] 1.2%[嘔吐]
	眠気	15.2%[傾眠]	14.1%[傾眠]	9.7%	31.0%[傾眠]	4.1%	50.0%[傾眠]
	口渇	9.3%[口内乾燥]	8.4%	7.2%	22.9%	7.5%	20.6%
	便秘	3.8%	5.8%	5.1%	13.9%	5.8%	12.7%
	下痢	6.4%	1.4%	1.0%	11.8%	<1.0%	3.0%
	頭痛	7.8%	5.0%	2.1%	21.0%	1.3%	6.4%
	めまい	5.0%[浮動性めまい] <1.0%[体位性めまい]	5.0%[浮動性めまい] <1.0%[体位性めまい]	2.9%	10.9%	1.5%[浮動性めまい] 1.3%[体位性めまい]	6.7%[浮動性めまい] 2.1%[体位性めまい]
	倦怠感	4.5%	2.5%	3.2%	6.1%	<1.0%	15.2%

5HT：セロトニン
NA：ノルアドレナリン

★1：Selective Serotonin Reuptake Inhibitors(選択的ｾﾛﾄﾆﾝ再取り込み阻害剤)
★2：Serotonin and Noradrenaline Reuptake Inhibitors(ｾﾛﾄﾆﾝ･ﾉﾙｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ再取り込み阻害剤)
★3：Noradrenergic and Specific Serotonergic Antidepressant(ﾉﾙｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ作動性･特異的ｾﾛﾄﾆﾝ作動性抗うつ剤)

詳細は添付文書等をご参照ください

〈各添付文書参照〉

主な抗うつ剤一覧表

アステム社内資料
H22.9
No.2

分　類	四環系			非三環系	三環系		
商品名	テシプール	テトラミド	ルジオミール	デジレル＝レスリン	トフラニール	トリプタノール	アナフラニール
会社名	持　田	ｼｪﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾗｳ=第一三共	ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ	ﾌｧｲｻﾞｰ=ｼｪﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾗｳ	ｱﾙﾌﾚｯｻﾌｧｰﾏ	万　有	ｱﾙﾌﾚｯｻﾌｧｰﾏ
一般名	ﾏﾚｲﾝ酸ｾﾁﾌﾟﾁﾘﾝ	塩酸ﾐｱﾝｾﾘﾝ	塩酸ﾏﾌﾟﾛﾁﾘﾝ	塩酸ﾄﾗｿﾞﾄﾞﾝ	塩酸ｲﾐﾌﾟﾗﾐﾝ	塩酸ｱﾐﾄﾘﾌﾟﾁﾘﾝ	塩酸ｸﾛﾐﾌﾟﾗﾐﾝ
剤　型	錠：1mg	錠：10mg,30mg	錠：10mg,25mg,50mg	錠：25mg,50mg	錠：10mg,25mg	錠：10mg,25mg	錠：10mg,25mg
効能・効果	うつ病・うつ状態				①精神科領域におけるうつ病・うつ状態 ②遺尿症（昼・夜）	②夜尿症	②遺尿症（昼・夜）
用法・用量	初期：1日3mg 1日6mgまで増量可、分服	初期：1日30mg分服、 1日60mgまで増量可 1日1回(夕食又は就寝前)	1日30～75mg、 2～3回分服 1回は夕食後又は就寝前	1日75～100mg初期用量 とし、1日200mgまで増量 1～数回分服	①初期：1日25～75mg、 1日200mgまで漸増 分割投与 1日300mgまで ②は添付文書参照	①1日30～75mg(初期量) 1日150mgまで漸増、分服 ②は添付文書参照	①1日50～100mg、 1～3回分服 最大：225mg ②は添付文書参照
薬理作用	・α2ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ受容体遮断によるNA遊離促進 ・脳内NA代謝回転亢進		・ｶﾃｺｰﾙｱﾐﾝ取り込み阻害 ・抗ﾚｾﾙﾋﾟﾝ作用 ・抗ﾃﾄﾗﾍﾞﾅｼﾞﾝ作用 ・NA取り込み阻害作用	・5HT取り込み阻害作用 ・NA取り込み阻害作用	・5HT取り込み阻害作用 ・NA取り込み阻害作用 (NA＞5HT)	・5HT取り込み阻害作用 ・NA取り込み阻害作用 ・抗ﾚｾﾙﾋﾟﾝ作用 ・抗ﾃﾄﾗﾍﾞﾅｼﾞﾝ作用 ・NA増強作用	・5HT取り込み阻害作用 ・NA取り込み阻害作用 (5HT＞NA)
副作用発現率(例数)【承認時】	11.0%(509/4632)	13.4%(1163/8679)	18.3%(2417/13187)	15.1%(1122/7419)	67.6%(465/688)	総症例1962※	34.3%(673/1964)
主な副作用【承認時】 悪心・嘔吐							
眠気	4.5%	6.22%	5.0% [傾眠･不眠･神経過敏等の精神神経系]	4.33%	18.9%	8.41%	7.7%
口渇	2.3%	2.93%	9.9% [口内乾燥･便秘等の胃腸系]	2.90%	34.3%	9.94%	17.9%
便秘	1.1%	1.73%		1.81%	15.3%		
下痢							
頭痛			3.8% [めまい･振戦･言語障害･頭痛等の中枢末梢神経系]				
めまい	2.0% [めまい･ふらつき･立ちくらみ]	1.71% [めまい･ふらつき]		3.64% [めまい･ふらつき]	20.9% [めまい･ふらつき･立ちくらみ]	1.78%	7.3% [めまい･ふらつき･立ちくらみ]
倦怠感	0.9%[脱力感]	1.29%[脱力感]	1.8%[倦怠感･無力症等]				

5HT：セロトニン
NA：ノルアドレナリン

※：件数表示のため発現率不明

詳細は添付文書等をご参照ください

〈各添付文書参照〉